

News Release

2020年7月8日
日本女子大学広報課

報道関係各位

日本女子大学・株式会社ラックは With コロナ時代、ICT 分野を支える女性育成を目指した 産学連携によるセキュリティ教育を実施します

学校法人日本女子大学(東京都文京区、理事長:今市 涼子)と株式会社ラック(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:西本 逸郎)は、ICT(情報通信技術)の活用能力を育成するプログラムを円滑に整備していくため、2020年3月24日、ICT 活用能力育成に関する覚書を締結いたしました。

両者は覚書締結を機に、まず情報科学系の学生を対象とした教育において連携・協力することとなり、2020年7月9日(木)より3回にわたり、授業(情報ゼミI)において産学連携によるセキュリティ教育をオンラインで実施いたします。

授業は Zoom を利用した同時双方向型で行います。座学にとどまらず、OSINT (Open Source Intelligence) や CTF (Capture The Flag) の演習も取り入れた、学生の参加意識をより高めるワークショップ形式のアクティブラーニングであることが特徴です。

日本女子大学は、我が国の私立女子大学で唯一理学部を擁する総合大学であり、全学的に ICT 教育に力を注ぐとともに、理学部数物科学科には情報コースを設置、Society5.0 の社会で活躍できる人材の育成に努めています。

株式会社ラックは、国内屈指の ICT セキュリティベンダーであり、ICT 技術だけでなく、社会的な問題とも深く結びついたセキュリティ分野に強く、セキュリティを含む ICT 活用教育、ICT 全般に関する啓発活動を広く行っています。官庁、企業などからの信頼も厚く、大学や高等専門学校その他、初等中等教育現場との連携実績も多いのが特長です。

With コロナ時代における新しい生活様式では、リモートワークやオンライン会議の活用など、身近な部分で ICT の必要性がこれまで以上に高まるとともに、ICT を安全に利活用するためのセキュリティも重要になっています。このような点に着眼し、本授業では Society5.0 の社会で ICT を利活用する市民として備えておくべき情報モラル・リテラシーを学び、社会において情報セキュリティがどのように必要とされているか知ることを目的としています。またオンラインでありながら実習を含む形式をとり、独自性のある講義です。

近年、ICT は新たな発展の段階に入り、さらに社会への影響を増しています。コロナ禍によって、そのスピードは加速しました。特にクラウドサービスや IoT(Internet of Things)などの台頭により、情報ネットワークを前提とした社会構造が形成され、社会で活躍する女性を輩出していくためには、それらを活用する能力を育成することが不可欠です。本授業は、この一翼を担う取り組みとなっています。

以上

【内容に関するお問い合わせ先】

日本女子大学 理学部数物科学科 教授 長谷川治久
日本女子大学 大学改革推進室 IR 推進室